（8）花き類・観葉植物

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
青枯病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎黄病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎凋病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
萎黄病(ﾌｻﾞﾘｳﾑ菌)	ｸﾛｰﾙﾋﾟｸﾘﾝ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝくん蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～5mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
うどんこ病	ｱﾝﾋﾞﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾍｷｻｺﾅｿﾞｰﾙ水和剤	3		1000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	7回以内	ばら、きくを除く
	ｴｺﾋﾞﾀ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100～200倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	-	
	ｶﾞｯﾃﾝ乳剤	ﾌﾙﾁｱﾆﾙ乳剤	U13		5000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病前～発病初期	散布	2回以内	
	ｶﾘｸﾞﾘｰﾝ	炭酸水素ｶﾘｳﾑ水溶剤	NC		800倍	150～500ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	-	きくを除く
	ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤	脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤	「-」		600倍	150～500ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	-	
	ﾊﾟﾝﾁｮTF顆粒水和剤	ｼﾌﾙﾌｪﾅﾐﾄﾞ・ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ水和剤	3,U6		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	2回以内	
	ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水溶剤	ﾎﾟﾘｵｷｼﾝ水溶剤	"「-」(I*)		2500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	8回以内	
	ﾓﾚｽﾀﾝ水和剤	ｷﾉｷｻﾘﾝ系水和剤	"UN(I*)		2000～3000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	10回以内	ｶｰﾈｰｼｮﾝを除く
株腐病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤	ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤	14		500～1000倍	3ﾘｯﾄﾙ/㎡	生育期	土壌灌注	5回以内	
球根腐敗病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
菌核病	ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤	ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤	1		1500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	5回以内	ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳを除く
茎腐病	ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤	ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤	14		500～1000倍	3ﾘｯﾄﾙ/㎡	生育期	土壌灌注	5回以内	
黒斑病	ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水溶剤	ﾎﾟﾘｵｷｼﾝ水溶剤	"「-」(I*)		2500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	8回以内	
根頭がんしゅ病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
首腐病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
白絹病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾓﾝｶｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ40	ﾌﾙﾄﾗﾆﾙ水和剤	7		1000～2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	株元散布	3回以内	
	ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤	ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤	14		500～1000倍	3ﾘｯﾄﾙ/㎡	-	株元灌注	5回以内	
立枯病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾘｿﾞﾚｯｸｽ水和剤	ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ水和剤	14		500～1000倍	3ﾘｯﾄﾙ/㎡	生育期	土壌灌注	5回以内	
	ﾘｿﾞﾚｯｸｽ粉剤	ﾄﾙｸﾛﾎｽﾒﾁﾙ粉剤	14		50kg/10a		定植前	土壌混和	1回	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
苗立枯病(ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌)	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
灰色かび病	ｱﾌｪｯﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾍﾞﾝﾁｵﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤	7		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	3回以内	きく、ゆり、ﾁｭｰﾘｯﾌﾟ、りんどうを除く
	ｹﾞｯﾀｰ水和剤	ｼﾞｴﾄﾌｪﾝｶﾙﾌﾞ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤	1,10		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	5回以内	ひまわり、ｾﾞﾗﾆｳﾑを除く
	ｾｲﾋﾞｱｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ20	ﾌﾙｼﾞｵｷｿﾆﾙ水和剤	12		1000倍	100～300L/10a	発病前～発病初期	散布	4回以内	きんせんか、ホワイトレースフラワーを除く
	ﾁｵﾉｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾁｳﾗﾑ水和剤	M3		500倍	100～500ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	6回以内	りんどうを除く
	ﾄﾚﾉｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾁｳﾗﾑ水和剤	M3		500倍	100～500ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	6回以内	りんどうを除く
	ﾌﾙﾋﾟｶﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾒﾊﾟﾆﾋﾟﾘﾑ水和剤	9		2000～3000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	5回以内	ばら、ｽﾀｰﾁｽ、宿根かすみそう、ゆり、りんどうを除く
	ﾎﾟﾘｵｷｼﾝAL水溶剤	ﾎﾟﾘｵｷｼﾝ水溶剤	"「-」(I*)		2500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	8回以内	
	ﾎﾟﾘﾍﾞﾘﾝ水和剤	ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝ酢酸塩・ﾎﾟﾘｵｷｼﾝ水和剤	"「-」(I*),M7		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発病初期	散布	8回以内	ｽﾄｯｸ、ｽﾀｰﾁｽ、ﾁｭｰﾘｯﾌﾟ、ばら、ｸﾙｸﾏ、きくを除く
半身萎凋病	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
ﾋﾟｼｳﾑ・ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等)	ｵｰｿｻｲﾄﾞ水和剤80	ｷｬﾌﾟﾀﾝ水和剤	M4		種子重量の0.2～0.4%	-	は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	
ﾌｻﾞﾘｳﾑ・ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等)	ﾎｰﾏｲ水和剤	ﾁｳﾗﾑ・ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤	1,M3		種子重量の1.0%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
ﾘｿﾞｸﾄﾆｱ菌による病害(苗立枯病等)	ﾊﾞｼﾀｯｸ水和剤75	ﾒﾌﾟﾛﾆﾙ水和剤	7		乾燥種子重量の0.4%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
	ﾓﾝｶｯﾄ水和剤	ﾌﾙﾄﾗﾆﾙ水和剤	7		種子重量の0.5～1.0%		は種前	種子処理機による種子粉衣	1回	観葉植物適用外
ｱｵﾑｼ	ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤	ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤	1B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ｽﾐﾁｵﾝ乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	6回以内	
ｱｻﾞﾐｳﾏ類	ｱｸﾞﾘﾒｯｸ	ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤	6	劇	500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く
	ｱﾌｧｰﾑ乳剤	ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤	6		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤	ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤	1B		1000～1500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤	ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤	1B		3～6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く
	ｵﾝｺﾙ粒剤5	ﾍﾞﾝﾌﾗｶﾙﾌﾞ粒剤	1A		6kg/10a		生育期	株元散布	3回以内	きく、ｽﾄｯｸを除く
	ｽﾐﾁｵﾝ乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	6回以内	
	ﾀﾞﾌﾞﾙｼｭｰﾀｰSE	脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ・ｽﾋﾟﾉｻﾄﾞ水和剤	「-」,5		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	
	ﾃﾞｨｱﾅSC	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤	5		2500～5000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
	ﾊﾁﾊﾁﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ水和剤	"21A(I*)	劇	1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	
	ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤	4A	劇	2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	ｽﾄｯｸ、りんどうを除く

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類	ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤	3A		2000～4000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
	ｱﾄﾞﾏｲﾔｰﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ水和剤	4A	劇	2000倍	100～200ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	きくを除く
	ｴｺﾋﾟﾀ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	-	
	ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤	ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤	1B		1000～1500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤	ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤	1B		3～6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く
	ｺﾙﾄ顆粒水和剤	ﾋﾞﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤	9B		4000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	4回以内	チューリップを除く
	ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤	3A	劇	2000～3000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	5回以内	宿根かすみそう、ｸﾞﾗｼﾞｵﾗｽ、ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ、りんどうを除く
	ﾁｪｽ顆粒水和剤	ﾋﾟﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤	9B		5000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	
	ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤	ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤	4A		1000～2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	ばら、きくを除く
	ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ粒剤	ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ粒剤	4A		1～2g/株		発生初期	生育期株元散布	4回以内	きく、きんせんかを除く
					3～5g/培土ﾘｯﾄﾙ		定植前	培土混和	1回	きく、きんせんかを除く
	ﾓｽﾋﾟﾗﾝｼﾞｪｯﾄ	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞくん煙剤	4A	劇	くん煙室容積400立方ﾒｰﾄﾙ(床面積200㎡×高さ2m)当り50g		発生初期	くん煙	5回以内	ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳを除く
	ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤	4A	劇	2000～4000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	ｽﾄｯｸ、りんどうを除く
	ﾛﾃﾞｨｰ乳剤	ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤	3A	劇	1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	6回以内	
ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ	ｱｸｾﾙﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾒﾀﾌﾙﾐｿﾞﾝ水和剤	22B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	きくを除く
	ｱﾌｧｰﾑ乳剤	ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ﾃﾞｨｱﾅSC	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤	5		2500～5000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
	ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤	ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤	28		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	きく、りんどうを除く
	ﾌﾟﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤	UN		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	
ｶﾀﾂﾑﾘ類	ﾅﾒｸﾘｰﾝ3	ﾒﾀｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ粒剤	「-」		1～3kg/10a		-	株元散布	6回以内	
ｶﾒﾑｼ類	ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤	3A		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類	ｴｺﾋﾟﾀ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100～200倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	-	
	ｺﾙﾄ顆粒水和剤	ﾋﾞﾘﾌﾙｷﾅｿﾞﾝ水和剤	9B		4000倍	100～300L/10a	発生初期	散布	4回以内	チューリップを除く
	ﾁｪｽ顆粒水和剤	ﾋﾟﾒﾄﾛｼﾞﾝ水和剤	9B		5000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	
	ﾃﾞｨｱﾅSC	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤	5		2500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
	ﾍﾞｽﾄｶﾞｰﾄﾞ水溶剤	ﾆﾃﾝﾋﾟﾗﾑ水溶剤	4A		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	ばら、きくを除く
	ﾗﾉｰﾃｰﾌﾞ	ﾋﾟﾘﾌﾟﾛｷｼﾌｪﾝ剤	7C		50㎡/10a		栽培期間中	作物体の付近に設置する。	1回	施設栽培
ｾﾝﾁｭｳ類	ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
ﾅﾒｸｼﾞ類	ﾅﾒｸﾘｰﾝ3	ﾒﾀｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ粒剤	「-」		1～3kg/10a		-	株元散布	6回以内	
ﾈｷﾘﾑｼ類	ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
	ﾈｷﾘﾍﾞｲﾄ	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ粒剤	3A		3g/㎡		生育初期	株元散布	6回以内	
ﾈｺﾌﾞｾﾝﾁｭｳ	ｶﾞｽﾀｰﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	
	ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤	ﾀﾞｿﾞﾒｯﾄ粉粒剤	"8F(I*)	劇	20～30kg/10a		は種又は植付前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回	

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	備考
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ	ﾌｪﾆｯｸｽ顆粒水和剤	ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤	28		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	きく、りんどうを除く
	ﾌﾟﾚｵﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾋﾟﾘﾀﾞﾘﾙ水和剤	UN		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	
	ﾏｯﾁ乳剤	ﾙﾌｪﾇﾛﾝ乳剤	15		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	きくを除く
ﾊﾀﾞﾆ類	ｱｸﾞﾘﾒｯｸ	ｱﾊﾞﾒｸﾁﾝ乳剤	6	劇	500倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	ｶﾞｰﾍﾞﾗを除く
	ｴｺﾋﾟﾀ液剤	還元澱粉糖化物液剤	「-」		100倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	-	
	ｶﾈﾏｲﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｱｾｷﾉｼﾙ水和剤	20B		1000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	1回	ばら、きく、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ﾃﾞﾙﾌｨﾆｳﾑを除く
	ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤	13	劇	2000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、ｽﾄｯｸを除く
	ｻﾝｸﾘｽﾀﾙ乳剤	脂肪酸ｸﾞﾘｾﾘﾄﾞ乳剤	「-」		600倍	150～500ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	-	
	ﾀﾞﾆｻﾗﾊﾞﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｼﾌﾙﾒﾄﾌｪﾝ水和剤	25A		1000倍	100～350ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	
	ﾀﾞﾆﾄﾛﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ水和剤	21A		1000～2000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	1回	
	ﾃﾃﾞｵﾝ乳剤	ﾃﾄﾗｼﾞﾎﾝ乳剤	12D		500～1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	10回以内	
	ﾆｯｿﾗﾝ水和剤	ﾍｷｼﾁｱｿﾞｸｽ水和剤	10A		2000～3000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	2回以内	
	ﾊﾟﾛｯｸﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｴﾄｷｻｿﾞｰﾙ水和剤	10B		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	1回	
	ﾋﾟﾗﾆｶEW	ﾃﾌﾞﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ乳剤	"21A(I*)	劇	2000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	1回	ｶｰﾈｰｼｮﾝ、きくを除く
	ﾛﾃﾞｨｰ乳剤	ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾟﾄﾘﾝ乳剤	3A	劇	1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	6回以内	
	粘着くん液剤	ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤	「-」		100倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	-	
	粘着くん液剤	ﾋﾄﾞﾛｷｼﾌﾟﾛﾋﾟﾙ化ﾘﾝ酸架橋ﾃﾞﾝﾌﾟﾝ液剤	「-」		100倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	-	
ﾊﾞｯﾀ類	ｽﾐﾁｵﾝ乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	6回以内	
ﾊﾏｷﾑｼ類	ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤	3A		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
	ｽﾐﾁｵﾝ乳剤	MEP乳剤	1B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	-	散布	6回以内	
ﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ類	ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤	ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤	4A		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	宿根ｱｽﾀｰ、ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ、きくを除く
	ｱﾌｧｰﾑ乳剤	ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ﾃﾞｨｱﾅSC	ｽﾋﾟﾈﾄﾗﾑ水和剤	5		2500～5000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	りんどうを除く
ﾊﾘｶﾞﾈﾑｼ類	ﾄﾞﾛｸﾛｰﾙ	ｸﾛﾙﾋﾟｸﾘﾝ燻蒸剤	8B	劇	<床土・堆肥>1穴当り3～6mL<圃場>1穴当り2～3mL			土壌くん蒸	2回以内(床土1回以内、圃場1回以内)	
ﾏﾒﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ	ﾄﾘｶﾞｰﾄﾞ液剤	ｼﾛﾏｼﾞﾝ液剤	17		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	4回以内	
ﾐｶﾝｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ	ｱｸﾀﾗ顆粒水溶剤	ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ水溶剤	4A		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	宿根ｱｽﾀｰ、ﾄﾙｺｷﾞｷｮｳ、きくを除く
	ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤	13	劇	2000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、ｽﾄｯｸを除く
ﾖﾄｳﾑｼ類	ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤	3A		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	6回以内	はぼたんを除く
	ｱﾌｧｰﾑ乳剤	ｴﾏﾒｸﾁﾝ安息香酸塩乳剤	6		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ｵﾙﾄﾗﾝ水和剤	ｱｾﾌｪｰﾄ水和剤	1B		1000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	5回以内	
	ｵﾙﾄﾗﾝ粒剤	ｱｾﾌｪｰﾄ粒剤	1B		6kg/10a		発生初期	株元散布	5回以内	きく、宿根ｽﾀｰﾁｽ、ｶｰﾈｰｼｮﾝ、ｱﾘｳﾑ、たであいを除く
	ｺﾃﾂﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ水和剤	13	劇	2000倍	150～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	きく、ｽﾄｯｸを除く
	ﾉｰﾓﾙﾄ乳剤	ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ乳剤	15		2000倍	100～300ﾘｯﾄﾙ/10a	発生初期	散布	2回以内	